

令和5年度 議会報告会報告書

委員会名	民生文教常任委員会		
開催日時	令和6年1月30日（火） 15:00~16:37		
開催場所	市役所南館4階大会議室		
議員参加者	たかおか議員 浅海議員 山口議員 ひろせ議員 西村議員 岩岡議員 西崎議員		
市民参加者	11人（受付人数）	Zoom参加者	7人（最大）
所要時間	1 開会 2 共通テーマの説明	15:00~15:18	
	3 委員会ごとのテーマの説明	15:18~15:31	
	4 意見交換 5 閉会	15:36~16:37	
意見交換	出された意見	回答	
	<p>①難しいカタカナ言語が多い。例えば、インクルーシブ教育とはどんな教育か。</p> <p>②市の諸問題に対して、議員自ら親としてなど、それぞれの立場に立って調査する気持ちを持って問題を解決してほしい。</p> <p>③キッチンカフェなりひら閉店問題でも議会よりも市民の動きが早かったのではないか。</p> <p>④各常任委員会の傍聴はできるのか。また、委員任期はいつまでか。</p> <p>⑤市長宛メールはどんどん出せるが、議員宛メールも気軽に出せる環境整備をしてほしい(要望)。</p> <p>⑥市長と教育委員会・議員がもっと対話をしてほしい(要望)。</p> <p>⑦小学校の英語教育が英語教育自体をダメにしていることを国に訴えてほしい(要望)。</p>	<p>①日本語の説明を付け加える。インクルーシブ教育とは、多様性を認める教育のことで、例えば、障がいのある子どもも一緒に教育すること。</p> <p>②調査しただけにとどまらず、それぞれの立場に立って、どう市政に活かすかを考えていく。</p> <p>③市民の請願書提出後から調査し、その対応を協議した。</p> <p>④傍聴可能。任期は1年間で、毎年入れ替えが行われる。</p>	

	<p>⑧芦屋の歴史をもっと学び、芦屋に誇りの持てる教育をしてほしい(要望)。</p> <p>⑨能登半島地震など、災害についての報告を自治会に下ろしたり、掲示してほしい(要望)</p> <p>⑩パブリックコメントを求めるならもっと念入りに作った資料を出した方がいい(要望)。</p> <p>⑪政務活動費の使用がどう市民に反映されたかを示してほしい(要望)。</p> <p>⑫ふるさと納税がしっくりしておらず、クラウドファンディングを考えたも、もっと芦屋を魅力あるまちにしないといけない(要望)。</p> <p>⑬子どもの教育では、もっと探求活動を増やしてほしい(要望)。</p> <p>⑭国や県からの要望が多過ぎて、学校の先生の負担が増す一方だ(感想)。</p>	
回答できなかった質問及び回答	<p>質問</p> <p>なし</p>	<p>回答</p>
Zoomのコメント及び回答	<p>コメント</p> <p>なし</p>	<p>回答</p>
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・当日参加者11名を2つのグループに分けて、それぞれに議員が入る形式の意見交換をしました。議員との距離が近く話しやすい雰囲気を作れ、多くの意見が出されたのは良かったと思います。ただ、出された意見の中から何か1つの意見に絞り、もう少し掘り下げて意見交換するために、グループごとに進行役があってもいいかなと思いました。 ・委員会のテーマ説明の際に、時間が押していることもあり、話すスピードが早いとの指摘がありましたので今後は気を付けたいと思いました。 ・全体的には活発な意見交換が出来て良かったと思います。 	

当日の写真

